

黒インクでご記入ください。
 持込欄の不可・可のどちらかに必ず をつけてください。

2005 年度(春)・秋学期定期試験				問題枚数	1/1	
科目名	出題者氏名	受験クラス	学生証番号	氏名		
コンピュータリテラシー	山本宙	DM-I・IIA				
持込	不可	可の場合は、記入	開講曜日・時限	現在使用して いる授業教室	12 — 307	採点
	可		水曜 1,2 限			

問 1 (15 点)

Microsoft Excel のデータの度数分布を求める FREQUENCY 関数は、配列 2 個を引数とし、配列 1 個を返す。第一引数の配列は分析したいデータであり、第二引数の配列は分布を計算する区間を与える。Excel のシートのデータが表 1 の状態のとき、C1 から始まるセルに FREQUENCY(A1:A6,B1:B3) を入力した。出力が表示されるセルすべてについて出力結果を表 1 に書き込め。

表 1. 問題のデータと解答欄

	A	B	C
1	20	20	
2	50	30	
3	40	40	
4	10		
5	35		
6	1		

問 2 (20 点)

右のプログラム 1 は 1 次元配列 score の要素の合計を計算するプログラムである。プログラム中の空欄を埋めよ。

解答欄 2-1:
 解答欄 2-2:

```
class Example1{
    public static void main(String args[]){
        int score[] = {30, 100, 95, 80};
        int i,sum;

        sum = 0;
        for (i = 0 ; 2-1 ; i++){
            sum += 2-2;
        }
        System.out.println(sum);
    }
}
```

プログラム 1

問 3 (20 点)

右のプログラム 2 を実行した結果が実行結果 1 である。プログラム中の空欄を埋めよ。

解答欄 3-1:
 解答欄 3-2:

```
class Example2{
    public static void main(String args[]){
        int i,j;

        for (j=0; j<=2 ; j++){
            for (i=0; i<=2 ; i++){
                System.out.print("(" + 3-1 + "," + 3-2 + ")");
                System.out.println();
            }
        }
    }
}
```

(0,0)(0,1)(0,2)
 (1,0)(1,1)(1,2)
 (2,0)(2,1)(2,2)

実行結果 1

プログラム 2

問 4 (各 10 点, 計 30 点)

右のプログラム部分 3 を実行したとき、A が出力される x の範囲を解答欄 4-1 に、B が出力される x の範囲を解答欄 4-2 に、C が出力される x の範囲を解答欄 4-3 に記入せよ。

解答欄 4-1:
 解答欄 4-2:
 解答欄 4-3:

```
if (x < 40 || x >= 60){
    if ( x >= 10 && x < 70 ){
        if (x >= 30 ){
            System.out.println("A");
        } else if (0 <= x){
            System.out.println("B");
        }
        System.out.println("C");
    }
}
```

プログラム部分 3

問 5 (15 点)

右のプログラム 4 を実行したときの出力結果を解答欄 5 に記入せよ。

解答欄 5:

```
class Example3{
    public static void main(String args[]){
        System.out.println(ex1(1,2));
        System.out.println(1);
        System.out.println(ex1(4,3));
    }

    static int ex1(int x, int y){
        System.out.println(y);
        return(x+y);
    }
}
```

プログラム 4